



賢い時間術

～知識はお金で、経験は時間で買う～

時間とお金の効果的な使い方はよく似ています。では、時間を投資した場合とお金を投資した場合で手に入るものが同じかと言えば、違います。

たとえば健康です。治療の場面ではお金も瞬間的に効力を発揮します。しかし継続的な健康、つまり予防には時間の投資が必要です。

時間でしか買えないものといえば、経験もそうです。経験と知識はよくワンワードで語られますが、両社は区別して考える必要があります。

知識はお金で買うことができます。本を買えば知識が手に入りますし、本を読んで知識を仕入れる余裕がなければ、専門家にお金を払ってかわりに知識を発揮してもらうこともできます。しかし経験は、自分で汗をかかないと手に入りません。お金を積んでも、人から経験を譲ってもらうことはできないし、借りることもできません。

本を読んで人の経験を追体験することは可能ですが、追体験で入手しているのは経験ではなく知識です。経験は、自分の時間を費やすことでしか蓄積できないのです。

知識と経験は入手できるタイミングにも違いがあります。知識はお金で買えるので、基本的にいつでも入手可能です。しかし、経験は今、その瞬間でしかできません。過ぎたことを経験することはできないし、未来を先取りして経験することもできないのです。経験できるタイミングは、常に今です。

また、知識では人と差別する事が困難です。先に知識を手に入れたとしても、後発が同様にお金で買ってしまうからです。しかし、経験は十分に差別化要因になります。経験は、その時の時間を投資することでしか入手できないのです。

だから、後発が追いつくことは原理的に不可能。先に経験を積んだ方の勝ちです。

あなたか時間を投資してさえいれば、結果は失敗であってもいいのです。失敗も一つの経験であり、自分の中にストックされています。何も経験しない状態より、ずっと価値があります。

セレンディピティを起こす

行動量を増やせば、偶然に何かを発見して創造を生み出すケースも増えます。

意図していなかったものと出会い、そこからひらめきを得る力の事をセレンディピティと言いますが、セレンディピティは行動力と密接な関係にあると言えます。

ただし、同じように時間を投資して経験を蓄積していても、偶然の出会いを多く経験する人とそうでない人がいます。その違いはどこにあるのでしょうか？

セレンディピティには5つのプロセスがあります。最初のプロセスは『意識』です。私が得意としてきた言い方ではファンクション（目的、役割、機能、効用）ですが、問題意識といったほうが伝わるでしょうか。

次は『行動』です。行動には時間の投資が必要であることは、指摘したとおりです。

3つめは「察知」です。行動すれば外部刺激を受け、近く情報を得ることができます。最初のプロセスでインストールされている意識が、入力された知覚情報に反応して、「ここには何かがある」という信号を発します。それが察知のプロセスです。察知の次は「想像」です。察知した何かの信号は、もしかしたら何か大きな意味を持つのかもかもしれないと想像するわけです。その結果、「この偶然の出会いには価値がある」と初めて気づく。それが最後の「発見」のプロセスです。

最初の入り方を間違えなければ、セレンディピティは至る所で起きます。時間を投資して行動量を増やしているのにセレンディピティが起きない人は、最初に意識のアンテナを張っていない可能性が高い。意識あってこそその行動です。

PRESIDENT online より

新たな自分は

いつも新たな景色の中に

新たな自分は

いつも踏み出した一歩先に

求めて、描いて、信じて

心の通りに、いつもどおりに

今日も今日を行こう

by きむ

おばあちゃんの知恵袋

【しもやけでかゆい時には】

しもやけでかゆい時には、みかんの皮と杉の青葉入りのお湯につかるといいんだよ。かゆいときにはね、ニンジンをお湯にすりこんだりニンニク入りの日本酒を塗ったり、唐辛子を漬けた酒を塗るといった聞いたことがあるよ。あとはね、ホットミルクでマッサージをしたり、酢を付けたり、塩湯を付けたりするのもいいってね。お湯と冷水に、交互に足を浸けるのもいいんだよ。



抹消手続き

12月の抹消最終日は28日（金）です。ギリギリまで対応しますので、お声かけください。